



調布市は、令和7年4月1日に市制施行70周年を迎えました

市報

ちようふ

令和7年(2025年)
No.1800

10/5

CONTENTS(主な内容)

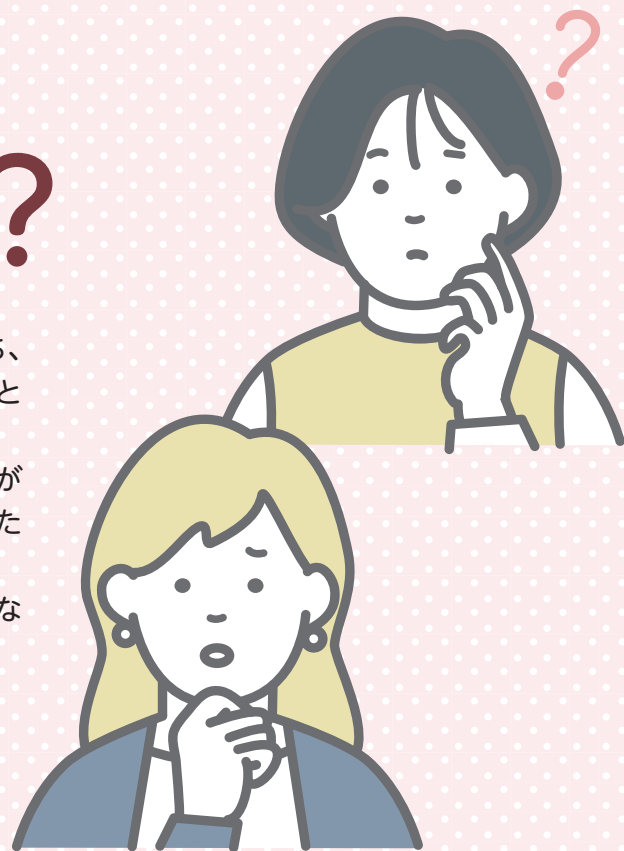
第70回調布市商工まつり	2
出沒! アド街ツク天国出演者×地球の歩き方編集室 スペシャルトークショー	2
令和8年度学童クラブ入会申し込み	4
デフリンピック特集	12

乳がん検診 受けていますか？

乳がんの罹患者数・死亡者数は年々増加し、今では日本人女性が罹患するがんのうち、乳がんが最も多くなりました。しかし、乳がんは早期に発見できれば治る可能性が高いといわれています。

早期発見のためには、年齢に関わらず日頃から自分の乳房を観察し、気になる場所があれば受診すること、乳がん検診を受けることが有効です。このように乳房を意識した生活習慣を「ブレスト・アウェアネス」といいます。

市では、40歳以上の方を対象に乳がん検診を行っています。前年度に検診を受けていない方は、この機会に検診を受けましょう。



9人に
1人が発症



40～60
歳代での
発症が多い



ピンクリボンキャンペーン調布 2025

より多くの方に乳がん予防の重要性を知ってもらうため、パンフレットや啓発グッズを配布します。

期10月31日(金)まで

所調布駅地下1階コンコース、市役所2階総合案内前など

他配布物がなくなり次第終了 図健康推進課 ☎042-441-6100



市HP

ピンクリボンは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の重要性を伝えるシンボルマークです。

10月は乳がん早期発見強化月間です

乳がん検診の詳細は2面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 472



秋に願いを

9月半ば以降も35度以上の気温が続いた異常気象から、まるでジェットコースターで急降下するかのよう1日で一気に10度以上も温度が低下してしまい、今年には心の準備もないうちに秋の訪れを迎えた感がある。今年ではなく通常の年においてだが、誰しも経験があるのではないだろうか。ふと秋風の冷気に気づき、急にたえようのない寂寥感、喪失感に身が包まれて立ち尽くす瞬間。その情感を歌で表現すれば、たとえば「夏の終わりに」「真夏の果実」「少年時代」。かなり以前では「誰もいない海」など(註)。

躍動感に溢れた喧騒が霧消したのちに、去りゆく夏がもたらす寂しさや虚しさで心が塞ぐことは辛くもあるが、それぞれの出来事が年月を経れば、やがて心地よい追憶となつて脳裏に去来することもある。

ひと夏を終える感傷に浸りながら、その年だけではなく過去に遭遇した多くの人との出会いや別離が脈絡もなく心に浮かぶとき、他者との折々の触れ合いの積み重ねで人生が成り立っていることを改めて実感する。

史上最高レベルの猛暑の襲来により、「死の危険がある暑さ」と日本中が連日騒然とする中、全国民の今夏の心身の疲弊度は間違いなく例年より高かったと言えよう。その疲れを癒し、ほのぼのと過去の追憶に身を委ねることのできる穏やかな秋の日々が続くことを心から願いたい。

調布市長
長友貴樹

(註1)「夏の終わりに」森山直太郎 2003年、「真夏の果実」サザンオールスターズ 1990年、「少年時代」井上陽水 1990年、「誰もいない海」ジェリー伊藤、トワエモアなど 1967年以降、複数の歌手がカバー。

市報ちようふの配布に関する問い合わせ 市報ちようふ配布コールセンター(配布受託業者(株)小平広告) ☎042-300-3131

市報の配布を中止したい、配布が必要ない場合は 右のQRコードから連絡または上記の市報ちようふ配布コールセンターへ



◀配布中止
連絡フォーム

市報ちようふは、
市HPでもご覧いただけます

